

廣報 まっだい

昭和42年4月5日発行
 第117号
 東頭城郡松代町公民館
 館長 富沢清次
 電話 松代6番
 印刷 松代印刷所

昭和四十二年定例町議会開かる

昭和四十二年定例町議会開かる

去る三月八日より四日間をわたり、予算町議会と称せられる定例町議会が開かれ、次の議題が提出され、いずれも原案どおり可決されました。

議第一号 昭和四一年度松代町一般会計才入才出補正予算

(九二二万円を追加)

議第二号 昭和四一年度松代町特別会計国民健康保険事業才入才出補正予算

(一五三万円を追加)

議第三号 昭和四一年度松代町特別会計建設機械施設事業才入才出補正予算

(一〇〇万円を追加)

議第四号 新潟県町村人事務組合を組織する地方公共団体の増減及び規約の変更について

議第五号 松代町災害救助条例の制定について

(目的)この条例は、災害に際して、町が応急的に必要な救助を行ない災害にかかった者の保護を図ることを目的とする

(救助の実施要件)この条例による救助は、災害救助法が適用されない災害であって、次に定める程度の災害が発生した場合で当該災害にかかり現に救助を必要とする者に対して行なうものとする

1. 住家が滅失した世帯数が二十以上に達した場合
 2. 前号の基準に達しないが多数の世帯の住家が滅失し、町長が特に必要と認めた場合

3. 多数の者が生命又は身体に危害を受け又は受けるおそれが生じた場合

議第六号 松代町土木事業費負担金条例の一部を改正する条例の制定について

議第七号 松代町議会議務局設置条例の制定について

議第八号 松代町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第九号 松代町特別職の職員で非常勤のものに報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第一〇号 松代町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第一一号 松代町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議第一二号 松代町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 議第一三号 松代町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 議第一四号 松代町職員の定数条例の一部を改正する条例の制定について
 議第一五号 松代町税条例の一部を改正する条例の制定について
 議第一六号 松代町有機機械施設

使用料条例の一部を改正する条例の制定について

議第一七号 昭和四二年定例町一般会計才入才出予算

(別記に明細)

議第一八号 昭和四二年等松代町特別会計国民健康保険事業才入才出予算

議第一九号 昭和四二年定例町特別会計建設機械施設事業才入才出予算

議第二〇号 昭和四二年定例町特別会計簡易水道事業才入才出予算

議第二一号 昭和四二年定例町特別会計農業共済事業才入才出予算

議第二二号 松代町議会議事委員会条例の一部を改正する条例の制定について

議第二三号 松代町固定資産評価審査委員の選任について

議第二四号 松代町道路審議会設置条例の制定について

議第二五号 農業共済条例の一部を改正する条例の制定について

議第二六号 新潟県刈羽郡高柳町・東頭城郡松代町学校組合を組織する地方公共団体の増減及び規約の変更について

議第二七号 新潟県刈羽郡高柳町・東頭城郡松代町学校組合議会議員の選挙について

昭和四十二年当初予算が議決

一般会計総額は二億〇九二五万円

かねて提出されていた昭和四十二年一般会計才入才出予算が三月八日より四日間にわたり町議会において慎重審議され、原案通り通過いたしました。

これにより当初予算は一般会計予算総額二億〇九二五万円となりこれは昨年度の二億一二四〇万円より三一四万円の減となっております。今年度は重点を全地域にという方針で民生費、農林業費、土木費、教育費が多きな割合をしめ中でも土木費は七八四万円の増となり、民生費も三一六万円増と大型な予算が打出されています。

このことは町内全地域に目を通し、本当の意味での行政をおし進めようとすることを示し、今後の方向付けんの第一歩と考えられます。尚事項別明細は別記の通りです。

昭和四十二年度予算の重点事項示めされる

議会議案の議第一七号提出の当初町長より四十二年における予算の重点を細部にわたり説明があり、本年度行政の骨子を示めされました。以下その要旨をかゝげます。

昭和四十二年度松代町予算の重点事項

1. 山間地農村の振興
2. 諸施策の内特に要望の強い町道の新設改良、農道の開設助成と共に役場庁舎の新築完成の翌年度に当る事情等を充分考慮の上
3. 消防施設の充実
4. 中、小学校の施設と高等学校寄宿舎の増築
5. 住民の労力負担及び経費負担の

軽減される事項を重点として、町道の新設改良費は前年度予算額の一〇八%、農道開設助成費、消防施設費は五〇%程度の増額を計り、中小学校施設においては、教職員住宅の新築、生徒寄宿舎の整備、非常階段の増設等を計画し、高等学校については父兄の要望されている寄宿舎施設を拡充して現在収容定員八〇名を一四八名収容に増強するよう予算の策定を計ったものです。過去の財政実質によりますと才

出決算面で、昭和三十九年度の総計一五三二八二千円に対し、昭和四十年度は二〇七一一〇二千円、その増加額は五三三二〇千円三五%の増加となっておりますが、新庁舎建築費二九〇五八千円を差引きしますと増加額は二四七六二千円一六%の増であり、又昭和四十年年度決算見込額も約一六%増が見込まれ、これ等の財政事情にあることを充分考慮して、本年度予算の規模はこれに従い、実質一六%程度の増額を以って策定いたしました。

昭和42年度予算支入支出款別図表

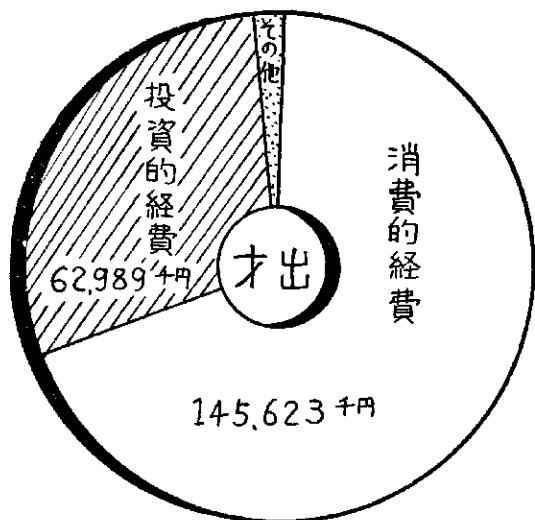
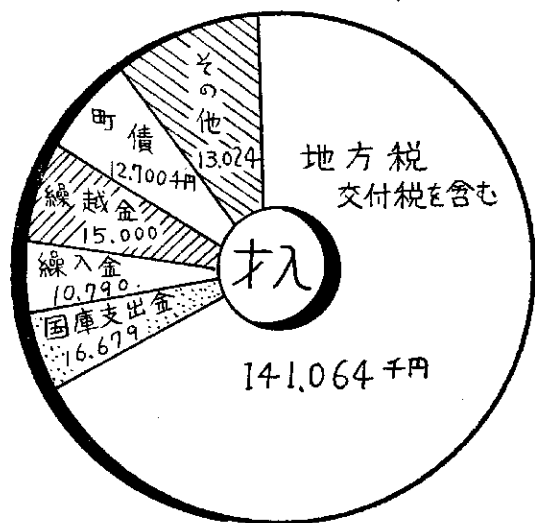
単位：千円

支入		支出	
その他			
具支出金	4,014千円		
分担金	7,172千円		
国庫支出金	10,679千円		
繰入金	10,790千円		
町債金	12,700千円		
繰越金	15,000千円		
市町村税	29,814千円		
地方交付金	111,250千円		
総務費		48,480千円	
教育費		41,068千円	
土木費		35,616千円	
農林業費		24,259千円	
公債費		14,172千円	
民生費		11,971千円	
災害復旧費		8,264千円	
消防費		7,787千円	
議会費		6,769千円	
労働費		5,323千円	
その他			

歳入歳出予算事項別明細書

昭和42年度性質別予算比較

単位：千円



(3)

<歳入>

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	予算総額比
1.市町村税	29,814	28,652	1,162	14.2
2.地方交付税	111,250	96,000	15,250	53.2
3.分担金及び負担金	7,172	5,753	1,419	3.4
4.使用料及び手数料	785	859	△ 74	0.4
5.国庫支出金	10,679	10,159	520	5.1
6.県支出金	4,014	6,484	△ 2,470	1.9
7.財産収入	878	1,129	△ 251	0.4
8.寄附金	3,721	4,518	△ 797	1.8
9.繰越金	15,000	4,523	10,477	7.2
10.諸収入	2,454	1,523	931	1.2
11.繰入金	10,790	15,000	△ 4,210	5.1
12.町債	12,700	37,800	△ 25,100	6.1
歳入合計	209,257	212,400	△ 3,143	100.0

<歳出>

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	予算総額比
1.議会費	6,769	4,720	2,049	3.2
2.総務費	48,480	72,668	△ 24,188	23.2
3.民生費	11,971	8,806	3,165	5.7
4.衛生費	4,919	4,082	837	2.4
5.労働費	5,323	4,835	488	2.5
6.農業費	24,259	25,324	△ 1,065	11.6
7.商工業費	329	326	3	0.2
8.土木費	35,616	27,775	7,841	17.0
9.消防費	7,787	5,415	2,372	3.7
10.教育費	41,068	44,109	△ 3,041	19.7
11.災害復旧費	8,264	5,022	3,242	3.9
12.公債費	14,172	9,018	5,154	6.8
13.予備費	300	300	0	0.1
歳出合計	209,257	212,400	△ 3,143	100.0

ました。
 又昭和四十年年度決算によりますと
 人件費等義務費
 四七五三四千円
 建設事業等投資的経費
 八四九七四千円
 物件費並び補助費等
 四一%

七四五九四千円
 三六%
 となり人件費等義務費の支出に
 ついては充分財政的考慮を払い、
 職員の新規採用は退職者の範囲内
 にとどめる等、極力投資的経費の
 増額に努めました。
 類似団体との比較では、町税収

入が約二六%程度低く、地方交付
 税で七%程度高く、又人件費は低
 く、投資的経費は同比率の程度に
 なっており、今後の財政運営につ
 いては更に検討を要すべきもので
 あり、起債並びに税外負担等が研
 究課題と考えられます。

- ① 議会費は六七七万円
- ② 総務費は四八四八万円
主な事業内容は一般管理費として一四〇〇万円、県会議員・町会議員の各選挙費として一六二万円があげられています。
又松代高等学校の寄宿舎建築費の八〇〇万円も含まれています
- ③ 民生費は一一九七万円
主なるものは、保育所費の一五六万円、季節保育所費の八三万円。なお本年度は室野にへき地保育所の設置をみることにになり一一〇万円が計上されています
また国民年金事務費は三九万円
災害救助費は三二万円となっています。
- ④ 衛生費は四九二万円
主なるものは、歯科治療台購入の九二万円で、他に予防費として各種の予防接種薬品費が一二八万円、環境衛生費として五八万円が計上されています。
- ⑤ 労働費は五三二万円

一般会計予算と主な施行事業経費と負担金

- 主なるものは、失業対策費の三四三万円、これは延二二九一日分の賃金と割砂利購入代一一一万円が計上されています。
- また酒造研究会、出稼組合などの補助金を含んだ労働諸費の一八八万円もあげられています
- ⑥ 農林業費は二四二六万円
主なるものは、農業振興費として二六七万円、この中には農業後継者講座開設、ラジオ農業学校の開設も含まれています。
また町内各地に動力散粉機を配布するための補助金として三八万円もあげられています。
補助金としてはこの他に、たばこ耕作組合支部に一〇万円、協業養蚕推進事業として二〇万円など、町内産業振興も広範囲に考慮された予算がくまれています
畜産業費は一七一万円です
付牛買上費六〇万が含まれています。
- また農道開発補助金として九〇〇万円を計上し、継続工事として清水、菅刈、竹所、芋島、

- 濁、新事業として孟地、木和田原、小貫、会沢、寺田、田野倉滝沢、室野、儀明などの各地内延六九五五米が計画されています。
- 林業振興費は福島林道開設工事費を含んだ三一三万円が計上されています。
- ⑦ 商工会費は三三万円
町商工会の補助費です。
- ⑧ 土木費は三五六一万円
主なるものは町道敷砂利等を含めた道路維持費の七一三万円、雪中道踏委託料として六三万円が計上されています。また道路新設改良費は一一七六万円です。
田野倉儀明線、松代海老東山線
田野倉筋平小貫線、室野儀明線
草生水中学校線、海老居村線、菅刈居村線、竹所居村線、桐山居村線、室野山平線、名平寺田線
清水居村線、筋平居村線、蒲生病室線など一六路線が計上され

- ています。また橋梁新設改良費では家の下橋(諏訪峠地内)。
- 辺地対策費として孟地荒瀬線も計画されています。
- ⑨ 消防費は七七八万円
これは防火水槽、消防道路などの補助が主で二八八万円、この他に消防施設費として四三三万円が計上、小型動力ポンプ三台の購入費一四五万円もあげられています。
- 尚団員の報酬費は九八万円です
- ⑩ 教育費は四一〇六万円
主なるものは小学校費の一九四八万円、中学校費の一一四一万円です。この中、小学校関係では室野教員住宅建築費、小屋丸分校住宅増築工事費が含まれ中学校関係には、松代中学校屋体床張替費、孟地中学校寄宿舎改修工事費などが含まれています
また社会教育費は三〇四万円です
この中に部落公民館設備補助金も計上され、町民の利用しやすい施設を考えています。

- ⑪ 災害復旧費は八二六万円
これは町単独災害復旧費として四一八万円を計上、この中昭和四一年度災害復旧費(主として小屋丸地内)の三四三万円があげられています。他に農林施設の災害復旧費として四八万円、地すべり移転家屋補助が一〇万円となっています。
- ⑫ 公債費は一四一七万円
これは償元金償還金が主なものだ七三三万円、他に償還金利息が六七五万円です。
- ⑬ 予備費は三〇万円
これは昨年度の予算額と同じです。

以上が主なる施行事業の内容と事業経費ですが、昨年度の予算より総額において三二四万円の減となっています。

昭和四十二年度松代町の各種特別会計も議決

直診事業会計も決る

昭和四十二年度松代町国民保険事業特別会計予算は一般会計予算議決のあとに提出、議決されました。予算総額八二七八一千円で、これは、昨年度の七五三九四千円にくらべ七三三七千円の増となっています。尚国民保険の概要は上表の通りで主なるものは、療養給付費の七二一七二千円です。

	昭和42年度	昭和41年度
数率	9,441人	9,500人
者 用 額 当	285.70%	265%
險 診 費 1 世 帯	2,676円	2,560円
保 受 1 保 険	12,000円	10,000円

また松代町直診事業特別会計は総予算八九一四千円です。これは昨年度にくらべて五一四千円増になっています。主なものは医療費で三一四〇千円です。

業特別会計は、一三三〇四千円です。これも昨年度の一〇六七千円に比べ二二三七千円の増で、主なるものは家畜共済勘定の二三一九千円(引受頭数六四〇頭)、農作物共済勘定七八二二千円をみてあります。また蚕繭共済勘定は二七七千円です。